

短い夏休みが終わり、学校が再開！

2学期が始まりました！

○避難訓練

令和2年度「学校防災計画書」にもとづいて、防災意識の高揚を図るために、防災訓練を行いました。

今回は、地震の発生後、食堂からの出火を想定し、運動場に避難をしました。訓練では、避難経路や集合場所の確認、シェイクアウト訓練の方法、及び、注意事項の説明をし、特に、放送や誘導をよく聞いて行動するように指導がありました。

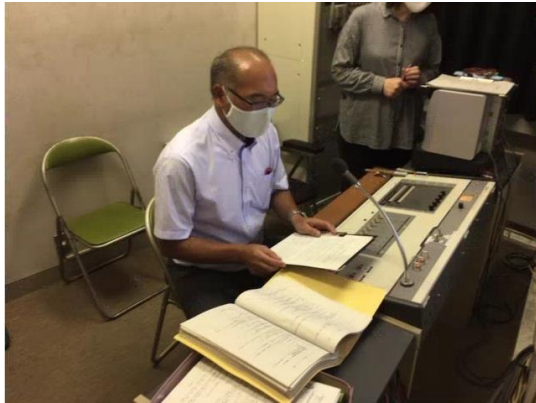


運動場に避難をした後、教頭先生より、「関東大震災や東日本大震災、集中豪雨など、これまで私たちは様々な災害のニュースを見たり、聞いたりしてきました。このようなニュースから、いつ、どこで、どのくらいの規模で起こるのかわからない地震への備えや心構えが必要です。」等の避難訓練全体の講評がありました。

また、今回の避難訓練では、今年度の自衛防災隊の任務確認として、消火・救護・救助・警備・搬出・安全・防護の各係に分かれて、業務内容の確認を行いました。

○始業式

新型コロナウイルス感染症の影響により、4月・5月に臨時休業となったことから、本校でも夏休みが高校では3週間、専攻科では2週間ほどに短縮されました。8月24日より、学校を再開し、授業が始まりました。



始業式では、校長先生から、夏休み前の講話を踏まえた上で、読書の習慣について、また、各学年や学科ごとのこれからの生活での目標等についての式辞がありました。

次に、生徒指導担当の先生からは、充実した学校生活を送るために、服装やマナーについて、文化祭でステージに出演する生徒に対する注意事項、貴重品の管理や交通安全についての講話がありました。

また、教育相談係の先生からは、心と体のコンディションを整えることや人間関係を円滑にするための秘訣についてお話がありました。

最後に、全体指導を担当された先生からは、防災訓練を振り返って、「災害はいつ、どのようなレベルで発生するかわからない。自衛防災隊の打合せを本日は行ったが、このような組織が実際に稼働するような災害が起きないことを祈るのはもちろんであるが、そのような事態があった場合には、どのような災害が起きているか予測がつかない。生徒も先生方も各自で考え、冷静に行動ができるように常日ごろの心構えが重要である。」とお話がありました。

まだまだ暑さが厳しい日が続きます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策としてマスクをしているので、熱中症も心配です。換気をしながら、手洗い、うがいをするに加え、暑さの対策も必要です。体調を整えて、充実した学校生活を送ることができるようになりましょう！

なお、出席統計については、規則により8月31日までが1学期としてカウントされます。2学期としてカウントするのは9月1日からになりますので、この場をお借りして保護者の皆様にご連絡いたします。